

カナダ オーロラ鑑賞、紅葉のローレンシャン高原、VIA鉄道乗車ツアー9日間

今回の旅行の目的は、3つありました。

- ① オーロラ鑑賞(アイスランドでみることができなかったオーロラ鑑賞のリベンジ)
- ② ローレンシャン高原の紅葉(カナダまで行くので、是非紅葉が見たい)
- ③ 大陸横断鉄道に乗りたいが日程的に難しく、短距離のVIA鉄道に乗る。

この3つの内容を達成しようとするには、通常の旅行会社のツアー企画にはない内容です。

これまでは旅行業者のツアーを利用していたので、大手の旅行会社に頼むのもいいのですが、よくばり旅行をするには、個人での企画を叶えてくれるところがないか探していたところ、ネットでカナダ専門旅行会社があるのを見つけました。それが『カナッタ』という「カナダ旅行専門会社」でした

最初は大丈夫かなと思いましたが、一度メールで確認したところ、いい返事が返ってきました。内容が内容だけに費用が通常のツアーよりかかるのを覚悟して一度話してみようということで尋ねてみました。

初めて森田さんにお会いして、個人での外国旅行は難しくないと言われて、希望を丁寧に聞いていただきました。

一番の心配は、言語です。英語での会話です。これまでも団体でのツアーで外国には何度も旅をしましたが、添乗員が同行なので英会話の心配をしなくてもよかったのです。添乗員に頼っていたので、フリーの時の片言の英会話も一時のことで、気にもならなかったのです。しかし、今回は違います。飛行機のチェックインから乗継、ホテルのチェックイン、鉄道移動のこと、すべてが初めての経験です。でもどうしてもオーロラが見たいのです。その欲求には勝てません。これまでの海外旅行もよかったのですが、ご相談した森田さんは、旅行の日程から細かな疑問まで事細かく対応してくださいましたので、思い切て

2人挑んでみることにしました。

いよいよ、当日です。早朝出発です。成田の乗継時間が長くて、飛行機に乗った時には少し疲れ気味です。ここから13時間の旅、飛行機はやはり疲れます。

翌日モントリオールにつきました。入国審査で一苦勞、顔認証システムでうまくいきません。これも初めての経験、「キオスク」の操作はうまくいきません。時間を要すこと30分。英語に不安があるので、ヘルプするのも躊躇。3度目でやっとできました。パスポートに入国印を押したい人は、出口の横に係員いるので申告すれば押してくれると、ネットでみていたので探したのですが、そのような人はおらず係員に片言の英語で聞いてもそのまま行けというジャスチャー(ノースタンプ)です。カナダへ行った証拠を残したかったのですが... どうすることもできず、荷物を取りに行きました。出口では担当の方が首を長くして待っていてくれました。これでホテルまでは心配なしです。

ホテルでのチェックインは、担当者のおかげで特に問題はなかったのですが、確認が漏れていました2日分の朝食。日本のホテルでも慣れているはずなのに、忘れていています。

早速、夕食調達や頼まれている土産の確認のため、街に出てみるのですが、夕食を買うのには対面での英会話がうまくいきません。お土産の店では、何とか片言の単語だけで通じました。不安は初日からです。

ここモントリオールは翌日のローレンシャン高原と次の午前中に地下鉄の乗ってノートルダム大聖堂へ行くこと。高原はツアー会社なので日本人スタッフで安心しました。地下鉄にのって該当駅までいきつけるのか？やはり駅の場所と名前の確認が不十分で、現地に行くまでに1時間要す。本来なら30分ほどで行ける場所です。

(反省:もっと事前の地図等で乗降車駅名の確認を確実にしておけばよかった)

大聖堂は、荘厳でとてもきれいです。



まず2つ目の目的地「ローレンシャン高原」紅葉の景色は最高です。

ガイドいわく、近年では最高の紅葉だそうです。

赤、黄、緑 山一面がとても良いコントラストです。日本でもこのようなコントラスト鮮やかさはあまりお目にかかれない景色です。頂上から眼下の湖の景色、そのあとのクルーズからの山全体の色鮮やかな景色、本当にパンフレットでみるような絶景です。



3つ目のVIA鉄道乗車です。

大陸横断鉄道に乗りたかったのですが。行程的に難しくモントリオールからケベックシティまでの3時間の旅 しかし、乗車後すぐにトラブル(機関車の故障で連結替えに要すること2時間半)ようやく15時15分動き出した。

途中の草原を走る車窓は、紅葉の時期も手伝って思っていた通りです。



車窓と車内から



終点。ケベックシティ駅

4日目 「ケベックシティ市内観光」



左:ケベック市街(パンフレットに出ている市街を背景に)

右:たまたま入港していた「Queen Mary 2」

5日目、昼間はフリーなので「キャメンロン滝ハイキング」ツアーへ参加



ホテルからは、4時間ほどのハイキングツアーです。1時間ほどで森の入り口に到着です。ハイキングも往復約1時間程度でした。滝に行く途中樹木や動物(リスが冬の準備をしている光景を見ました)の説明を受けながら、湖から滝へ流れる川にたどり着きました。水はとても冷たかったです。

いよいよ1つ目の目的地「イエローナイフ」でのオーロラ鑑賞
到着日は、天候曇りで雲は晴れずじまいで見れませんでした。





【F1.8 広角レンズ ISO800 2秒 オリンパス (PL6) 三脚固定・リモート】



【F1.8 広角レンズ ISO 800~3200 2秒 Canon G7XマークII (手持ち撮影)】

2日目、今日もダメかと思っていたところ、0時過ぎくらいになって、
なんと満月がビレッジ全体を明るく照らしているではないですか。星空です！

「もしかするとみれるかも」と期待していると、バッファローの丘に「薄いけどオーロラが出ている」との情報でみんな駆けよりました。

空は白い雲が揺らいで見えているだけです。

このように緑色に見えるのは、画像を通してだけで、人間の目では確認できません。しかし、時間がたつにつれて、なんとなく緑っぽく、カーテンが揺らいでいるようにも見えてきました。やっとの思いでオーロラを見ることに成功しました。

カメラで見ないと出ているのかわからない。テレビで見ているように見えるものと私たちは誤解していました。

※ 北緯60度(日本はない緯度) イエローナイフの夏

3日間の内に一度は遭遇できるという確率95%以上、今回は、2日目の鑑賞時間を延長して、午前1時すぎごろ待望のオーロラに遭遇です。

午前3時ごろが一番大きくはっきり出ていました。これで「レベル3」らしいです。カメラのシャッターを押すのに必死です。刻々と形を変えるオーロラは生きているように感じました。

このたびは、「カナツタ」さんに、欲張りな内容の企画をお願いしました。

所期の目的を3つとも達成することができました。

費用を貯め、団体ツアーでなく2人で行くことを決意した旅行のミッションは成功です。

あ～、また行きたくなっただけー 海外旅行！！

行きたいところはいっぱいあるのだが、

今度はどこへ行こうかな～

(でも、個人旅行はそう簡単ではない、次回までにクリアすることがいっぱいです)

海外での連絡方法(携帯電話が使用できるように)の確立、WiFi事情、英会話(翻訳機が必要かも)が堪能(聞き取れないのが致命)にできること。